

第32回 埼玉県診療放射線技師学術大会 プログラム

時間	第1会場 国際会議室	時間	第2会場 市民ホール1	時間	第3会場 市民ホール4	時間	機器展示 市民ホール2・3	時間	リーディングコーナー	
8:30 ~	受付開始									
8:50	開会式									
9:00 ~	【シンポジウム】 「業務拡大から7年、 そしてこれから」 座長：今出 克利 演者：岡田 圭伍 演者：吉田 和則 演者：池野 直哉	9:30 ~	一般演題IV 座長：金野 元樹 10:00 3DCT	9:00 ~	【テクニカルディスカッション】 「業務拡大で求められる 救急医療の知識」 演者：佐々木 健 演者：大根田 純 演者：滝口 泰徳	9:00	機器展示 機器展示 賛助会員各社	9:00	リーディングコーナー リーディングコーナー 胸部 乳腺 消化管 胸部CT MRI	
10:30	一般演題I 座長：高橋 忍 一般撮影①	10:00 ~	一般演題V 座長：矢島 慧介 10:30 医療安全	10:00 ~	【学生セッション】 座長：寺澤 和晶					
10:30 ~		10:30 ~	学術特別企画 「国際学会で見た最新の 放射線技術と気になる トピックス」 演者：中根 淳	11:00						
11:30 ~	一般演題II 座長：森 一也 一般撮影②	11:30 ~	一般演題VI 座長：宮崎 千晶 座長：清水 隆広 12:10 AG・MRI・治療	11:30 ~	【教育セミナー】 「演題発表に関する倫理指 針と利益相反について」 座長：富田 博信 演者：武井 宏行	~				~
12:30				12:30						
12:40 ~	【ランチョンセミナー】 「あなたの役割は何ですか？」 ディズニーと難病を患う家族 が教えてくれたこと 演者：大住 力 座長：佐々木 健									
13:40										
13:50 ~	【特別講演】 「業務拡大の現状と課題、 そしてこれから」 座長：田中 宏 演者：熊代 正行	14:00 ~	一般演題VII 座長：荻野 奈規 CT	14:00 ~	【リーディング症例解説】 司会：大森 正司	14:00				14:00
14:50 ~	一般演題III 座長：亀山 枝里 15:10 MMG			15:00						
15:20	閉会式・表彰式									

第32回

埼玉県診療放射線技師学術大会

業務拡大から7年、
そしてこれから

2018年3月4日(日)

大宮ソニックシティ

参加費：会員 2,000円 / 非会員 3,000円 / 学生無料

大会長：田中 宏（埼玉県立小児医療センター）

主催：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

特別講演

業務拡大の現状と課題、そしてこれから

熊代正行（日本診療放射線技師会 副会長）

教育セミナー

演題発表に関する倫理指針と利益相反について

武井宏行（群馬大学医学部附属病院）

ランチオン
セミナー

あなたの役割は何ですか？

～ディズニーと難病を患う家族が教えてくれたこと～

大住 力（公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を）

学術特別企画

国際学会で見た最新の
放射線技術と気になるトピックス

シンポジウム

業務拡大から7年、
そしてこれから

テクニカル
ディスカッション

業務拡大で求められる
救急医療の知識

会場：大宮ソニックシティ



埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

JR・東武野田線 大宮駅西口
歩行者デッキにて直結 徒歩3分



問合せ先：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39
TEL：048-664-2728 対応時間平日（月～金曜日）9:00～15:00



第32回埼玉県診療放射線技師学術大会市民公開講座

3D画像による 人体解剖学体験

日時

平成30年
3月4日 日曜日

10:00 ~ 14:00

場所

大宮ソニックシティ
ホール棟4階国際会議室前

1回15分

参加無料

当日10時よりホール棟4階国際会議室前にて受付を開始します。予約が埋まり次第、終了となりますので、ご了承ください。

病院で私たち診療放射線技師が実際に使用しているワークステーション機器を使って3D画像の作成方法や人体解剖学と一緒に学習しましょう。
ご参加、お待ちしております。



問い合わせ

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39
TEL : 048-664-2728

後援：埼玉県さいたま市
教育委員会

■シンポジウム

「業務拡大から7年、そしてこれから」

平成22年厚生労働省から通知された「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」には、診療放射線技師を積極的に活用する業務として「画像診断等における読影の補助を行なうこと」「放射線検査等に関する説明・相談を行なうこと」が明記された。また平成27年には、診療放射線技師法の一部改定が行われ施行されました。具体的には、CT・MRI検査などでの自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（肛門にカテーテルを挿入する行為を含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのカテーテル挿入であり、診療放射線技師の業務内容の拡大が行われました。本シンポジウムでは、それぞれの分野でご活躍されている3人のシンポジストをお招きして、診療放射線技師がチーム医療に積極的に参画し、貢献して行くためにはどうすればいいのか？参加者の皆さんと一緒に考えるシンポジウムにしたいと考えています。ぜひ、会場にご参集ください。

座長：さいたま市民医療センター 今出 克利

- 当施設における抜針・止血の現状について

昭和大学 岡田 圭伍

- 読影補助業務の現状と今後の展望

東京医科大学病院 吉田 和則

- 放射線検査説明・相談の実践と評価

国立がん研究センター中央病院 池野 直哉

■ランチョンセミナー

座長：上尾中央総合病院 佐々木 健

講師：公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を 大住 力

■タイトル

「あなたの役割は何ですか？ディズニーと難病を患う家族が教えてくれたこと」

■略歴

東京ディズニーランド等を管理・運営する（株）オリエンタルランドに入社し、約20年間、人材教育やプロジェクトの立ち上げ、運営、マネジメントに携わる。

現在は、難病を患う子どもとその家族への応援を目的とした（非営利組織）公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」を設立し、代表を務める。

「いま」を生きる、をテーマに、教育現場から企業の人材育成研修、また講演活動など幅広く活動している。



大住 力 (オオスミリキ) プロフィール



略歴：東京ディズニーランド等を管理・運営する(株)オリエンタルランドに入社し、約20年間、人材教育、東京ディズニーシー、イクスピアリなどのプロジェクトの立ち上げや運営、マネジメントに携わる。

東京ディズニーリゾート全般のマーケット戦略・コンテンツ開発や、人材教育の領域では、現場の組織活性を目的にディズニーランドの創始者であるウォルト・ディズニー氏の研究会を立ち上げ、そのリーダーとして現場の指揮向上に努めた。

現在は、難病を患う子どもとその家族への応援を目的とした(非営利組織)公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」を2010年3月に設立し、代表を務める。2012年11月に内閣府に公益性を認められ、公益社団法人となる。「いまを生きる」、をテーマに、難病を患う子どもと家族への応援と共に、誰でもが持っている「底力(ソコリキ)」を応援するべく、教育現場から、企業の人材育成研修や刑務所の受刑者矯正教育、また講演活動など幅広く活動している。

公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を 代表 (国際ビジネス賞2014年スティーヴィー賞金賞受賞)

ソコリキ教育研究所 所長

株式会社ハウステンボス元顧問

国立富山大学、東京家政大学非常勤講師、山野医療専門学校元講師 ほか

著書・DVD：「ディズニーのすごい仕組み (かんき出版)」

「ディズニーの最強マニュアル (かんき出版)」(本・DVD)

「ディズニーの現場力 (かんき出版)」

「一生の仕事が見つかるディズニーの教え(日経BP社)」

「もしもディズニーが店長だったら (日経BP社)」

「わたしは、いま、とてもしあわせです (ポプラ社)」

その他：ドキュメンタリー映画「Given ギブン～いま、ここ、にあるしあわせ～」企画・総指揮

一般社団法人 ソコリキ教育研究所

公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を

〒104-0042 東京都中央区入船2-9-10 五條ビル 4A

TEL:03-6280-3214 FAX: 03-6280-3215

担当：山浦圭二 k.yamaura@yumewo.org

■学術特別企画

国際学会で見た最新の放射線技術と気になるトピックス

埼玉医科大学総合医療センター 中根 淳

“Artificial Intelligence” “Deep Learning” “Machine Learning” という言葉を聞いたことはあるだろうか。これらは“人工知能”に関する言葉である。数年前まで、人工知能は診療放射線技師の業務支援のツールという位置付けで活用されるのであろうという認識であった。しかし、今回、Radiological Society of North America (RSNA) 2017 に発表を兼ねて参加し、業務支援の範疇を超えた進化に驚きを覚えた。いくつか例を挙げると、学習機能を兼ね備えたポジショニング支援技術・臓器のセグメンテーション・読影機能である。研究発表におけるRSNA 2017のトピックスは、Photon counting CT・Cinematic Rendering・Gd造影剤の体内沈着と考えている。当日は、最新の放射線技術に関して有益な情報提供をしたいと考えている。

■学術委員企画

「業務拡大で求められる救急医療の知識」

平成 27 年に施行された診療放射線技師法の一部改定に伴い、診療放射線技師養成課程における教育内容に医療安全管理学が追加され、同年発表された平成 32 年版診療放射線技師国家試験出題基準にて医療安全管理学の項目として救急医療が明記されました。そこで今回、養成機関での教育の現状や救急医療に携わるうえで必要な基礎知識について企画しました。

学校教育の現状を知るとともに、自身の救急医療の知識を高める良い機会となっております。皆さまのご来場をお待ちしております。

内容

1) 診療放射線技師養成機関での心肺蘇生教育法の現状

演者：上尾中央総合病院 佐々木 健

2) 外傷救急撮影における医療安全の基礎知識

演者：埼玉医科大学総合医療センター 大根田 純

3) 埼玉県診療放射線技師会の取り組み

演者：上尾中央総合病院 滝口 泰徳